

WebLog v1.1 使用説明書

ブラウザで動作するアマチュア無線交信ログアプリ（TurboHamLog データ互換）

1. 概要

WebLog はブラウザ上で動作するアマチュア無線交信ログアプリです。インストール不要で、HTML ファイルをブラウザで開くだけで使用できます。データは端末内の IndexedDB に保存されるため、インターネット接続は不要です。

- TurboHamLog 互換の CSV (Shift-JIS) の読み書きに対応
- ADIF 形式でのエクスポート/インポートに対応
- JCC/JCG コードの自動補完（市区町村名 → QTH 自動入力）
- 複数の自局コールサインを管理・切り替え可能
- 最大約 50,000 件の交信データを管理可能
- スマートフォン・タブレットにも対応（レスポンシブデザイン）

2. 起動方法

以下の 2 ファイルを同じフォルダに置き、WebLog.html をブラウザで開いてください。

ファイル	説明
WebLog.html	本体アプリ
jcc-data-yomi.js	JCC/JCG コードデータ（必須）

【注意】 推奨ブラウザ : Google Chrome、Microsoft Edge、Firefox、Safari（最新版）。

Internet Explorer では動作しません。

3. 画面構成

エリア	説明
タイトルバー	自局コールサインの選択（プルダウン）・追加（+）・削除（-）ボタン、JST/UTC リアルタイム時計
入力フォーム	交信データの新規入力・編集エリア
フィルターバー	キーワード検索、バンド絞り込み、モード絞り込み、自局コール絞り込み
ログ一覧	交信記録のテーブル表示（行クリックで編集）
スクロール進捗バー	全件表示前に「X / Y 件表示中」を表示。下スクロールで自動追加
統計バー	総交信数・JCC 集計・バンド別・モード別の集計
フッター	エクスポート/インポート/バックアップ等のボタン群

4. 自局コールサインの管理

画面右上のプルダウンで自局コールサインを選択・管理できます。選択中のコールサインが新規交信の「自局コール（myCall）」として記録されます。複数のコールサイン（クラブ局・移動運用局など）を登録して切り替えることができます。

▶ コールサインの追加（+ボタン）

「+」ボタンをクリックするとコールサイン入力ダイアログが表示されます。新しいコールサインを入力して登録してください。既に登録済みのコールサインを入力した場合は、そのコールに切り替えます。

▶ コールサインの切り替え

プルダウンをクリックして目的のコールサインを選択してください。以降に入力する交信はすべて選択中のコールサインで記録されます。

▶ コールサインの削除（-ボタン）

「-」ボタンをクリックすると、現在選択中のコールサインをリストから削除します。確認ダイアログが表示されるので「OK」で実行してください。リストに最低 1 件は必要なため、残り 1 件のときは削除できません。

【注意】 旧バージョンで入力済みのコールサインは初回起動時に自動的にリストへ移行されます。

【注意】 交信記録そのものは削除されません。コールサインをリストから削除しても、そのコールで記録された過去の交信データはそのまま残ります。

5. 交信の入力

▶ 入力フィールド一覧

フィールド	形式・説明
日付	YYYYMMDD 形式（例：20250504）
時刻(JST)	HHMM 形式（例：1430）
コールサイン	相手局のコールサイン。自動的に大文字変換
周波数(MHz)	数値で入力（例：7.100）。バンドは自動判定
モード	SSB / CW / FM / AM / RTTY / FT8 / FT4 / JS8 / PSK31 / SSTV / D-STAR / C4FM / DMR
RST 送	送信した RST（デジタルモード選択時は自動で 599 に変更）
RST 受	受信した RST
名前	相手局の氏名
QTH	相手局の場所。JCC コード入力時は自動補完される
JCC	JCC / JCG コード（例：1301）。入力すると QTH 欄を自動補完
QSL	ビューロー / ダイレクト / 電子 QSL / なし
備考	自由記入欄

▶ 便利な機能

機能	操作方法
現在時刻の自動入力	「今」ボタンをクリック → 現在の JST 日時をフ

	ホームに入力
交信の登録	「入力 [F1]」ボタン、または F1 キー
フォームのクリア	「クリア」ボタン
重複チェック	コールサインを入力すると過去に交信済みの場合「★重複」が表示される
過去の交信サジェスト（前方一致）	コールサイン欄に 2 文字以上入力すると、前方一致するコールサイン候補を最大 15 件表示。候補をクリックすると入力欄に反映され、そのコールの交信履歴が全件表示される
過去の交信履歴（完全一致）	入力したコールサインと完全一致する過去の交信を全件表示。クリックすると編集モードに遷移
JCC 自動補完	JCC 欄に番号を入力すると QTH 欄に市区町村名が自動入力される。JCG（6 桁）の場合は都道府県名が入力される
デジタルモード RST	CW / FT8 などのデジタルモードを選択すると RST が自動的に 599 に変更される

【注意】登録が完了すると画面右下にトースト通知が表示されます。JCC の新局（初めて交信したコード）の場合は「NEW JCC!」と緑色で表示されます。

6. ログ一覧の操作

▶ ソート

列ヘッダ（No.・日付・時刻・コールサイン・バンド・周波数・モード・名前・QTH・JCC・QSL）をクリックするとその列でソートされます。もう一度クリックすると昇順/降順が切り替わります（▲/▼ で表示）。

▶ 編集

一覧の行をクリックすると、そのレコードの内容が入力フォームに読み込まれ編集モードになります。修正後「更新 [F1]」または F1 キーで確定。「キャンセル」ボタンで編集を中止します。

▶ 削除

各行右端の「X」ボタンをクリックすると確認ダイアログが表示され、OKで1件削除します。

▶ 無限スクロール（自動読み込み）

一覧を最下部までスクロールすると、次の100件が自動的に追加表示されます。全件表示が完了するまで「X / Y 件表示中 下にスクロールで続きを読み込み」と表示されます。検索・フィルター・ソートを変更すると先頭に戻ります。

▶ No. の採番ルール

No. はタイムスタンプ順に採番されます（No.1 = 最古の交信）。ソートや表示順に関わらず一貫して同じ番号が付きます。

7. 検索・絞り込み

機能	操作方法
キーワード検索	「検索」欄に文字を入力 → コールサイン・名前・QTH・JCC・備考を対象にリアルタイム絞り込み
バンド絞り込み	「バンド」プルダウンでバンドを選択
モード絞り込み	「モード」プルダウンでモードを選択
自局コール絞り込み	「自局:」プルダウンで自局コールサインを選択 → そのコールで記録した交信のみ表示
件数表示	フィルター適用時は「絞込件数 / 総件数」、全件表示時は「総件数」が表示される

複数の条件を組み合わせることができます。フィルターを解除するにはプルダウンを「ALL」に戻し、検索欄を空にしてください。

8. 統計表示

画面下部の統計バーに以下の情報がリアルタイムで表示されます。

項目	説明
総交信数	登録されている全交信件数

JCC	交信済みのユニーク JCC コード数と次の目標 (100 局単位) までの残数
バンド別	各バンドの交信件数 (例 : 7MHz:120 / 430MHz:45 ...)
モード別	各モードの交信件数 (例 : SSB:200 / FT8:85 ...)

9. データの管理 (エクスポート/インポート)

▶ ADIF エクスポート

「ADIF エクスポート」ボタンをクリックすると、全データを ADIF 形式 (.adi) でダウンロードします。時刻は JST → UTC に変換されます。他のロギングソフトや LoTW などへの連携に使用できます。

▶ ADIF インポート

「ADIF インポート」ボタンをクリックしてファイルを選択すると、ADIF (.adi / .adif) を読み込み既存データに追加します (上書きではありません)。時刻は UTC → JST に変換されます。

▶ HAMLOG CSV エクスポート

「HAMLOG CSV エクスポート」ボタンをクリックすると出力範囲選択ダイアログが表示されます。

範囲指定	説明
全件	すべての交信データを出力
No. 範囲	指定した No. の範囲のみ出力 (例 : 1 ~ 500)
日付範囲	指定した日付範囲のみ出力 (例 : 20240101 ~ 20241231)

出力ファイルは TurboHamLog 互換の Shift-JIS CSV 形式です。Shift-JIS 変換ライブラリが読み込めない環境では UTF-8 で出力されます。

▶ HAMLOG CSV インポート

「HAMLOG CSV インポート」ボタンをクリックしてファイルを選択すると、TurboHamLog 形式の CSV を読み込み既存データに追加します。Shift-JIS・UTF-8（BOM 付き）の両形式に対応しています。

【注意】 列の対応：コールサイン、日付（YY/MM/DD または YYYY/MM/DD）、時刻、RST 受、RST 送、周波数、モード、JCC/JCG、名前、QTH、備考 1、備考 2 の順。

10. バックアップとリストア

▶ バックアップ

「バックアップ」ボタンをクリックすると、全データを JSON 形式（weblog_backup_YYYYMMDD.json）でダウンロードします。定期的にバックアップを保存しておくことを推奨します。

▶ リストア

「リストア」ボタンをクリックしてバックアップ JSON ファイルを選択すると、現在のデータを上書きしてリストアします。確認ダイアログで「OK」を選んだ後に実行されます。

【注意】 リストアを実行すると現在のデータはすべて削除され、バックアップ時点の内容に戻ります。操作前に必ずバックアップを取ってください。

▶ 全件削除

「全件削除」ボタン（赤）をクリックすると確認ダイアログが表示されます。OK を選ぶとすべての交信データが削除されます。この操作は元に戻せません。

11. ストレージについて

データはブラウザの IndexedDB（ブラウザ組み込みのローカルデータベース）に保存されます。インターネットへのアップロードは一切行われません。

項目	詳細
交信データ保存場所	端末内の IndexedDB（データベース名：WebLog）
コールサインリスト保存場所	localStorage（whl_mycalls キー）

容量上限	ディスクの空き容量に依存（実用上 GB 単位）
推奨最大件数	約 50,000 件（約 20MB）
旧データの移行	旧バージョン（localStorage 保存）のデータは初回起動時に自動移行される

【注意】 データの引き継ぎ：IndexedDB はブラウザとファイルパスに紐付いています。別のブラウザや別のパソコンにデータを移す場合は「バックアップ → リストア」または ADIF エクスポート/インポートを使用してください。

【注意】 ブラウザを変えた場合：Chrome で保存したデータは Edge では引き継がれません。同じブラウザを使い続けるか、定期的にバックアップを取ることを推奨します。

12. 対応バンド・モード一覧

▶ バンド（周波数から自動判定）

バンド	周波数範囲（MHz）
1.9MHz	2MHz 未満
3.5MHz	2 ～ 4MHz 未満
7MHz	4 ～ 10MHz 未満
10MHz	10 ～ 12MHz 未満
14MHz	12 ～ 18MHz 未満
18MHz	18 ～ 20MHz 未満
21MHz	20 ～ 24MHz 未満
24MHz	24 ～ 26MHz 未満
28MHz	26 ～ 30MHz 未満
50MHz	30 ～ 80MHz 未満
144MHz	80 ～ 200MHz 未満
430MHz	200 ～ 500MHz 未満
1200MHz	500 ～ 1500MHz 未満
2400MHz	1500MHz 以上

▶ 対応モード

SSB、CW、FM、AM、RTTY、FT8、FT4、JS8、PSK31、SSTV、D-STAR、C4FM、DMR

CW・RTTY・FT8・FT4・JS8・PSK31 はデジタルモードとして扱われ、選択時に RST が自動的に 599 に変更されます。